

特別展

飯能の 山をゆく

旅の歴史と
自然へのいざない

[会期] 令和6(2024)年

10月13日[日]～
12月8日[日]

[開館時間] 午前9時～午後5時

[休館日] 毎週月曜日(10月14日、11月4日を除く)、
10月15日(火)、11月5日(火)



種山石を含むマンガン鉱石



旧正丸峠



「四季の武蔵野」付図(部分)



飯能市立博物館

Hanno Municipal Museum

愛称:きつとす

飯能の山をゆく

特別展

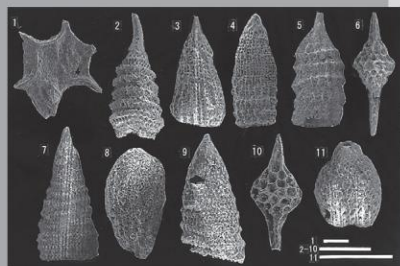
旅の歴史と自然へのいざない

飯能市の市域は約8割が山地という起伏の大きな険しい地形です。そこには飯能市域の内外を結ぶ山越えの道がつくられ、その道を多くの人々が通り抜け交流してきた歴史があります。また人里から離れて自然と対峙する山上の霊地は信仰の対象となって、参拝者はもちろん様々な文人墨客も来訪する旅の目的地となりました。今回の特別展は飯能市域の山地に焦点を絞り、人々の来訪や交通・観光などの歴史と、山の自然とりわけその景観を形づくる地質や植生について解説することで、人々を惹きつけ続ける山の魅力を紹介します。

植物標本 ツクバネガシ



植物標本 ミズナラ



放散虫の電子顕微鏡写真



パンフレット「ハイキング」
昭和11(1936)年頃



『吾野観音霊驗記』(裏表紙)



白子 愛宕山



竹寺(八王寺) 秋元不死男句碑



正丸峠開通記念絵葉書(正丸峠のボンネットバス)
昭和11(1936)年

特別展開連事業

●関連講座(要申込・申込順)

①奥武蔵って、どこですか

講師:加藤寛之氏(地域研究者)
日時:10月27日(日)午後2時~4時
会場:飯能市民会館 会議室202
定員:40名

②飯能地域の地質の成り立ちについて

講師:加藤潔氏(駒澤大学非常勤講師)
日時:11月17日(日)午後2時~4時
会場:飯能市民会館 会議室202
定員:40名

③飯能の山地の岩石から産する化石と化石からわかること

講師:松岡喜久次氏(元埼玉県立高校地学教諭)
日時:11月24日(日)午後2時~4時
会場:飯能市立博物館学習研修室
定員:30名

●現地見学会(要申込・申込順)

白子 愛宕山・水晶山登山と長念寺

日時 11月10日(日) 午前9時から正午頃
場所 武蔵横手駅集合
定員 10名
参加費 100円(保険代)
案内 岸裕介(当館学芸員)
低山ですが急登箇所もありますので体力に不安のある方はご遠慮ください。
雨天の場合は16日(土)に延期。延期日も雨天の場合は、室内講義になります。

●担当学芸員による見どころ解説(申込不要、直接会場へ)

日時 ①11月17日(日) ②12月7日(土)
いずれも午前11時から30分程度(どちらも同内容)
会場 飯能市立博物館特別展示室

※関連講座、現地見学会の申込は10月8日(火)午前9時から飯能市電子申請にて受付。(ご利用が難しい場合は、博物館へご相談ください。)
※駐車場に限りがあるため特別展開連事業にお越しになる際は公共交通機関をご利用ください。



飯能市立博物館
Hanno Municipal Museum 愛称:きつとす

開館時間 午前9時~午後5時 〒357-0063 埼玉県飯能市大字飯能258-1
TEL (042)972-1414 FAX (042)972-1431

休館日 毎週月曜日(10月14日、11月4日を除く)、10月15日(火)、11月5日(火)



ACCESS

飯能駅北口または東飯能駅西口より名栗方面バス「市民会館・博物館」バス停下車徒歩3分、または西武飯能日高方面バス「OH!!!・天覧山下」バス停下車徒歩5分



ホームページ



X
(@twitter)



Facebook